

9・15 戦争法弾圧一

3名不当逮捕徹底弾劾!

戦争法成立絶対阻止！実力闘争で闘おう！

全国反戦青年委員会

全日本学生自治会総連合(伍代委員長)

東京都杉並区下高井戸1-34-9

03-3329-0165/0168 <http://zengakuren.info>

9月15日、戦争法成立絶対阻止の闘いに対して許し難い弾圧が強行されました。国会前の道路を封鎖する権力に対して、「不当な鉄柵をとれ」「道をあける」、どこからともなく湧き上がる労働者人民の怒涛のようなコール。ついに決壊した鉄柵からあふれる人々につかみかかった権力は、「公務執行妨害」で3名を不当逮捕しました。これが戦争法の正体だ。弾圧粉碎を戦争法案反対の闘いとともにも闘いぬきましょう！

◆規制を突破して国会へ！採決阻止へ！

戦争法案を強行採決しようとする安倍に対する怒りが沸騰しています。

警察は労働者人民の闘いが合流し闘うことを恐れ、国会前の道路を封鎖しました。怒りが爆発する。機動隊の暴力を許さず、阻止線を突き崩し、突破する闘いが打ち抜かれました。反対側で不当な鉄柵規制と闘っていた人々と合流するんだと、「鉄柵どける」の闘いが果敢に闘われました。鉄柵がふみ倒されたことに危機感をもった警察は大量の機動隊を投入し、闘う人々を暴力的に歩道に押し込んでいきます。警察の暴力許さんと、多くの人々が身体を張って機動隊に立ち向かっていきました。その闘いを恐れた機動隊指揮官が、先頭で闘っていた仲間を地面に引き倒し、腹や顔面をけり、「公妨」で不当逮捕したのです。仲間は、左胸打撲、顔面裂傷のけがを負っています。絶対に許せません。警察は安倍とこの戦争法を守る側です。警察を絶対に許さない。

警察の暴力を許さない！ 不当な鉄柵を撤去せよ！

警察は規制をやめろ！ 弾圧を許さない！

戦争と弾圧は一体です。国内の労働者人民の闘いを根絶することで支配階級のための戦争は可能となります。先の「15年戦争」は治安維持法弾圧と一体でした。警察のいうなりの行動は、体制内に迎え入れられるだけで、戦争を止める根源的力にはなりません。いずれ戦争の補完勢力となるほかありません。ただ非妥協の実力闘争のみが戦争法を粉碎し、戦争を止める力となります。この非妥協の獄中における闘いが完黙一非転向闘争です。

巨万の声に対して、安倍は弾圧をもって応えてきたのです。戦争反対の闘いは弾圧を粉碎して進みます。必ずこの弾圧を打ち砕きましょう。

「集団的自衛権行使」閣議決定から戦争法反対の闘いの中で、抗議の自殺者がでています。7月、8月、そして9月14日、15日にも不当な弾圧が強行されています。しかし、マスコミはファシスト安倍の報復をおそれて「自主規制」状態です。弾圧に対する労働者人民の怒りが爆発することを恐れているのです。

仲間たちは、この不当逮捕に煮えたる怒りをもって完黙一非転向で闘いぬいています。これほどの人民の声を無視して戦争に突っ走る安倍政権に対して、交わすことばも交わす感情もありません。権力に一切の情報を与えないことが肝心です。写真撮影を拒否し、取調べを拒否して闘っている仲間もいます。

◆戦争法弾圧に反弹圧の闘いを！

私たちは、弾圧には反撃戦をもって闘います。15日不当逮捕当日、警視庁本庁に対して第一弾の弾劾行動を叩きつけました。16日深夜にも、多くの仲間が警視庁麹町署前を制圧し、弾劾の声を叩きつけました。怒れる皆さん！ 共に闘いましょう。警視庁本庁へ、分散留置されている都内各地の警察署に抗議を！

警察—治安弾圧機関を解体しよう！

抗議行動に集まってください！

9月18日（金）15時～警視庁本部前（千代田区霞が関2-1-1）
反弹圧カンパをよろしくお願いします。

カンパ振込み先：郵便振替口座番号00100-3-105440

救済連絡センター宛で必ず通信欄に

「2015年9・15、9・16戦争法弾圧粉碎救援会」と明記してください。

弾劾・抗議の声を集中しよう！

警視庁本部千代田区霞が関2-1-1 03-3581-4321

麹町警察署千代田区麹町1-4 3234-0110

赤坂警察署港区赤坂4-18-19 03-3475-0110